

## 創刊号の内容と特徴

平成国際大学  
教職支援センター長 坂本 保富

本学は、平成 14（2002）年に文部省より教職課程（法学部・大学院の中学校社会科・高校公民科の教員養成）の認可を受けて以来、10 余年間、埼玉県内外の公私立学校（中学・高校）に教員を輩出して参りました。

その実績を踏まえて、平成 25 年度には取得できる教員免許状の拡充を図り、同時に教員志望の学生に対する教職教育の指導体制を強化すべく、「教職支援センター」を新設しました。同センターには本学の教職課程の専任教員の他に、埼玉県教育界で活躍された学識経験が豊かで実践的な先生方を特任教授としてお迎えし、個々の学生へのきめ細やかな指導を実施しております。

さらに、平成 27 年度よりは、本学の地域貢献の重要な一環としての教育貢献事業「教員免許状更新講習」も、文部科学省より認可を受けてはじめました。初年度の本年は、募集定員を遙かに超える応募者があり、全学あげて専門研究の成果を活かした教授陣の講習授業が行われました。授業に対する受講者の評価は頗る高く、大きな喜びと励ましを頂きました。

以上のような経緯を踏まえて、教職支援センターの研究紀要『教職研究』の創刊号には、本年度の教員免許状更新講習の授業内容を担当教授の方々に簡潔平易に論文にして頂き、掲載することとしました。

地域教育への貢献をめざす本誌が、埼玉県内外の現場の先生方にとって、今後とも日々の教育実践に有益な知識・技術を提供できますれば、これにすぐる喜びはございません。

教育関係各位のご理解とご支援を衷心よりお願いいたします。